

平成 27 年度 新磯地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	相模川帆かけ舟実演会第30回記念事業	【 1 】
申請団体	相模原市磯部民俗資料保存会	
事業目的等	<p>かつて相模川の水運で活躍した帆かけ舟を復元し、現在では相模川の夏の風物詩として、毎年8月に行われている帆かけ舟の実演会が第30回目という節目を迎えるにあたり、和太鼓の演奏や投網の実演、川魚の解説等の様々な催しによる記念事業を実施することにより、賑わいを創出するとともに、帆かけ舟による生活文化・伝統を通じた地域の交流をより一層深めるもの。</p>	
交付決定日	平成27年 7月10日	
交付決定金額	200,000 円	(全体事業費 248,800 円)
団体実績報告	<p>事業実績 「相模川帆かけ舟実演会」において、第30回記念事業を実施 日時：平成27年8月2日(日)午前10時～午後2時 来場者 約900人 場所：相模川河川敷「三段の滝下多目的広場」 実施内容(記念事業として) ・帆かけ舟の実演と合わせた伴走舟(ばんそうせん)の乗船(定員80名) ・光明学園相模原高校による和太鼓演奏 ・自然観察員による川魚の解説 投網の実演については、川の状況を考慮し中止 関係機関・団体等との連携・協力 ・新磯商盛会による模擬店実施 ・相模女子大学、女子美術大学の学生参加受け入れ(南区役所との連携)</p> <p>自己評価 第30回記念事業の実施は今年度限りとなるが、本記念事業をきっかけに「相模川帆かけ舟実演会」をより一層賑わいのある、魅力あふれる行事にしていくとともに、より多くの住民が地域の伝統・文化に関心を持ち、様々な地域活動に積極的に参加できるよう地域の結びつきを深めていきたい。 今後の課題として、帆かけ舟をより勇壮に見せるための帆走ルートの検討や会員の高齢化等を踏まえた負担軽減、若い世代の積極的参画が挙げられる。</p>	
市 評 価	<p>かつて地域の生活文化として長く継承されてきた「帆かけ舟」は、新磯地区の重要な地域資源の一つであり、本記念事業の実施により、地域住民同士のふれあいや交流がより一層深められ、地域のコミュニティづくりや活性化に寄与している。</p> <p>地域の魅力を広く地区内外に情報発信することで、本市のシティセールスにも大きく貢献している。</p>	
備 考		

申請事業名	新磯かかし祭	【 2 】
申請団体	ローカル・ラボ	
事業目的等	<p>新磯地区ならではの山や田の景観の美しさを再発見し、世代を超えた地域の交流を広げていくため、地域の田園風景を彩る「新磯かかし祭」を開催し、身近な材料を使ったかかしの製作、展示及び交流イベント等を通じて、幅広い世代が地域で活躍出来る機会を創出するとともに、地域活動に参加しやすい環境づくりを進める。</p>	
交付決定日	平成27年 7月31日	
交付決定金額	215,000 円	(全体事業費 215,000 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>(1) かかしの製作・取り付け ・参加者による「かかし」の製作及び取り付け作業(参加者10グループ)</p> <p>(2) 交流イベントの実施 ・日時:平成27年9月12日(土)午前10時~午後2時 ・場所:新磯公民館駐車場 ・内容:かかしの投票、各種模擬店(魚つりごっこ、折り紙名人コーナーほか)、各種イベント(相模原青陵高校応援部・JA婦人会・SC相模原・相模原商工会議所青年部ほか)</p> <p>(3) かかしの展示 ・展示期間:9月12日(土)~10月4日(日) ・場所:新磯ふれあいセンター(れんげの里あいそ内)裏手の田んぼ</p> <p>(4) 関係機関・団体等との連携・協力 ・新磯地区自治会連合会協力による地区内周知(地域情報誌・ポスター掲示等)</p> <p>自己評価 「新磯かかし祭」は、今年度初めての開催であったが、参加者や協力者等から、来年も続けてもらいたいという声をいただくなど、一定の成果が得られたと思う。</p> <p>今後は、地域住民同士のふれあいや交流の輪を更に広げていけるよう、準備期間を十分に確保し、組織体制や実施体制等の充実を図りながら、参加者や来場者の増加につなげていきたい。</p>	
市 評 価	<p>本かかし祭の開催は、新磯地区の新たなイベントとして、幅広い世代が地域で活躍出来る機会の創出や、地域活動に参加しやすい環境づくりに積極的に取り組まれており、まちづくり会議で議論がなされた「コミュニティ豊かな地域づくり」や「地域活動の担い手づくり」に向けた地域課題の解決の一助につながっている。</p> <p>次年度以降に向けては、より一層賑わいのある、魅力あふれるイベントの実施が期待されることから、本事業の成果や実施過程等の検証を着実に進めたい。</p>	
備 考		

申請事業名	ざる菊花見会	【 3 】
申請団体	新磯ざる菊愛好会	
事業目的等	新磯地区の秋の魅力を高めるため、「ざる菊」による花の名所づくりを推進し、秋の観光名所として市内外からの交流人口の増加を図るとともに、他団体との連携を促進し、新磯地区の地域活性化に寄与することを目的とする。	
交付決定日	平成27年 9月 4日	
交付決定金額	150,000 円	(全体事業費 301,000 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>(1) ざる菊花見会期間：平成27年10月25日(日)～11月14日(土) 式典日時：平成27年11月3日(火・祝) 11時～</p> <p>(2) 場所：勝坂歴史公園南側(南区磯部4375)の農園</p> <p>(3) 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター制作・ざる菊展示によるPR(地区内外及び公共施設等への掲示) ・土壌改良等による会場整備及び会場設営 ・ざる菊花見会の開催(10月25日～11月14日) 来場者への案内、ざる菊及び地元産の野菜・焼き芋等の販売 等 ・式典及びイベント(オカリナ、太鼓、はやし等の演奏)の開催(11月3日) ・同時期に開催される「勝坂遺跡縄文まつり」(11月3日)との相互連携・協力 ・新磯観光協会発行の「新磯観光マップ」の掲示・同会主催の写真コンテストのPR ・南区役所との連携による相模女子大学の学生参加の受け入れ <p>自己評価</p> <p>「ざる菊花見会」は今年で7回目を迎え、来場者が13,000人を超えるなど、新磯地区の秋の風物詩として、地域の活性化に寄与することができた。</p> <p>今年は、花見会に向けて、植栽後の年数経過を踏まえた適切な土壌改良等の品質管理や会場整備の充実を図り、一定の成果を挙げることができた。</p> <p>「勝坂遺跡縄文まつり」や同時期に協力関係のとれる団体との連携強化を図ることにより、一日楽しめる新磯巡りを推進し、地域の観光PRや賑やかに貢献した。</p>	
市 評 価	<p>「ざる菊花見会」の開催が、新磯地区の秋の風物詩として市内外に広く周知される中、特に今年は、植栽後の年数経過に伴う土壌条件の変化に適切に対応し、品質管理等の充実積極的に取り組まれたことで、地域における観光名所としての機能維持・向上に大きく貢献している。</p> <p>「勝坂遺跡縄文まつり」との連携強化や他団体との連携により、地区内の秋のイベントとしての相乗効果をもたらしている。</p>	
備 考		

申請事業名	相模川下礪部地区芝ざくら保全事業	【 4 】
申請団体	相模川芝ざくら下礪部愛好会	
事業目的等	相模川の芝ざくらの良好な景観を保持し、相模原市の観光資源の魅力向上に資するため、雑草の発生を抑制する防草シートを敷設することにより、除草作業等の負担軽減を図り、適切な苗の植え替えを実施することにより、更なる効率的・効果的な芝ざくらの維持管理を推進する。	
交付決定日	平成27年 9月 4日	
交付決定金額	900,000 円	(全体事業費 986,000 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>老化や夏の猛暑によって枯れた部分を始め、スギナなど雑草処理のため、法面の補修を施した個所等において、防草シート(延長約280メートル)を敷設</p> <p>種類別に適切な配列を考慮して、芝ざくら苗(交付金分約3,000株)の植え付け作業を実施</p> <p>苗の植え付け完了後、速やかに散水等適切な植栽管理を実施</p> <p>自己評価</p> <p>地域活性化事業交付金を活用し、スギナなど雑草の発生を抑制する防草シートを敷設することにより、除草作業等の負担軽減が図られ、効率的・効果的な芝ざくらの維持管理を行うことができた。</p> <p>今後も、相模川の自然と環境を守り、芝ざくらの良好な景観を保持していくため、引き続き必要な個所における法面の補修及び防草シートの敷設等を計画的に実施し、維持管理の充実を図ってまいります。</p>	
市評価	<p>相模川の芝ざくらは、毎年4月の開花時期には、市内外から15万人前後の来場者が訪れ、市の魅力ある観光資源の一翼を担うとともに、新礪地区の地域活性化に寄与している。</p> <p>河川敷に芝ざくらを植えることにより、河川環境も大きく改善され、不法投棄の防止をはじめ相模川の自然と環境を守る役割に大きく貢献している。</p>	
備考		

申請事業名	相模川新戸地区芝ざくら保全事業	【 5 】
申請団体	新戸相模川芝ざくら保存会	
事業目的等	相模川の芝ざくらの良好な景観を保持し、相模原市の観光資源の魅力向上に資するため、雑草の発生を抑制する防草シートを敷設することにより、除草作業等の負担軽減を図り、適切な苗の植え替えを実施することにより、更なる効率的・効果的な芝ざくらの維持管理を推進する。	
交付決定日	平成27年 9月 4日	
交付決定金額	900,000 円	(全体事業費 900,000 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>老化や夏の猛暑によって枯れた部分を始め、スギナなど雑草処理のため、法面の補修を施した個所等において、防草シート(延長約210メートル)を敷設</p> <p>○ 種類別に適切な配列を考慮して、芝ざくら苗(交付金分約1,700株)の植え付け作業を実施</p> <p>苗の植え付け後、速やかに散水等適切な植栽管理を実施</p> <p>自己評価</p> <p>地域活性化事業交付金を活用し、スギナなど雑草の発生を抑制する防草シートを敷設することにより、除草作業等の負担軽減が図られ、効率的・効果的な芝ざくらの維持管理を行うことができた。</p> <p>今後も、相模川の自然と環境を守り、芝ざくらの良好な景観を保持していくため、引き続き必要な個所における法面の補修及び防草シートの敷設等を計画的に実施し、維持管理の充実を図ってまいりたい。</p>	
市 評 価	<p>相模川の芝ざくらは、毎年4月の開花時期には、市内外から15万人前後の来場者が訪れ、市の魅力ある観光資源の一翼を担うとともに、新磯地区の地域活性化に寄与している。</p> <p>河川敷に芝ざくらを植えることにより、河川環境も大きく改善され、不法投棄の防止をはじめ相模川の自然と環境を守る役割に大きく貢献している。</p>	
備 考		

申請事業名	新磯地区自治会未加入実態調査事業 【 6 】
申請団体	新磯地区自治会連合会
事業目的等	<p>地域コミュニティの中心となる自治会活動の活性化を図るため、自治会未加入世帯に対するアンケートを実施し、未加入の理由等の実態を把握することにより、今後の自治会加入促進策の検討に資する。</p> <p>また、併せて自治会加入促進の啓発を行う。</p>
交付決定日	平成27年12月 1日
交付決定金額	335,000 円 (全体事業費 335,000 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>新磯地区における自治会未加入世帯へのアンケート調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査対象：新磯地区内の自治会未加入世帯 ・調査期間：平成27年12月～平成28年1月 ・調査項目：属性、自治会活動の認知度、加入経験の有無、未加入・退会理由、未加入による不安感、重要な自治会活動、加入意向、自治会に求める対応・呼びかけ方法 他 ・調査と併せた自治会加入促進の啓発（チラシ・リーフレット同封） <p>○ アンケートの集計・分析（2月）</p> <p>○ 報告書の作成（3月）</p> <p>自己評価</p> <p>○ 本事業による未加入世帯へのアンケート調査は、地区自治会連合会として初めて実施したものであるが、率直なご意見をいただくなど、有意義な回答が得られたと考えている。</p> <p>○ 今後は、本調査結果をもとに、より効果的な自治会加入促進策の検討及び実践につなげてまいりたい。</p>
市 評 価	<p>本調査は、まちづくり会議における地域課題（テーマ：地域コミュニティの形成・地域の担い手づくり）を解決するための具体的な方策として実践されており、本事業の目的に即した有用な調査結果が得られている。</p> <p>○ 今後は、本調査結果をもとに、地域の実情に即した効果的な自治会加入促進策を講じられたい。</p>
備 考	

申請事業名	災害時における自助・共助推進事業	【 7 】
申請団体	新磯地区自治会連合会	
事業目的等	<p>大地震等の災害に備え、地域住民等に対して、事前の防災・減災対策及び発災時の防災行動等を適切に伝え、自助・共助の取り組みの実践に活用していただくため、チラシ「新磯実践防災」を昨年度に引き続き発行し、地域防災力の向上に資する。また、併せて自治会加入促進の啓発を行い、「共助」の基礎である地域コミュニティの向上を図る。</p>	
交付決定日	平成28年 2月12日	
交付決定金額	300,000 円 (全体事業費 300,000 円)	
団体実績報告	<p>事業実績 災害時における自助・共助の取り組みの実践に活用していただくためのチラシ「新磯実践防災」の発行 【掲載内容】 地区防災計画の概要、地区における発災時の防災行動、自主防災組織の活動状況、災害時要援護者支援の取組状況、地区防災連絡協議会の運営状況、地区防災マップ（避難所・一時避難場所・広域避難所等）自治会加入促進啓発等</p> <p>地区住民、新磯地区防災連絡協議会の構成団体（39の組織・機関等）及び公共施設等に広く配布</p> <p>自己評価 ○ 本チラシの発行は昨年度に引き続いて2年目となるが、災害時における自助・共助の取り組みに対する地区住民の意識は、徐々に浸透してきていると思われる。</p> <p>○ 今後も、地域の防災力の更なる向上を図るため、住民一人ひとりによる自発的かつ実践的な防災活動を地区内で定着させてまいりたい。</p>	
市評価	<p>当事業は、まちづくり会議で示された地域の課題解決につながるものであり、災害時に備えた地区内における自助・共助の取り組みの実践につながる事業であるとともに、自治会加入促進の取り組みが図られている。</p> <p>地域の防災行動力となる地区内の関係組織・機関等に対して、積極的な情報提供を行うことで、地域防災のネットワーク化の促進が図られている。</p>	
備考		